

平成16年度決算総括表

(単位：千円)

	歳入決算額	歳出決算額	差引額	
一般会計	54,787,211	53,455,666	1,331,545	
特別会計	国民健康保険事業	13,172,918	12,828,078	344,840
	老人保健	11,004,044	10,966,206	37,838
	介護保険事業	6,615,567	6,351,468	264,099
	下水道事業	5,688,221	5,566,772	121,449
	受託水道事業	1,450,022	1,450,022	0
合計	92,717,983	90,618,212	2,099,771	

平成16年度 各会計決算を認定

平成16年度一般会計決算及び5つの特別会計決算が、12月定例会初日の本会議で認定されました。

平成16年度各会計決算の認定議案は、9月定例会最終日に市長から提出され、その後これらの議案を審査するため、一般会計及び特別会計の各決算特別委員会が設置されました。一般会計は10月11日から13日まで延べ約26時間、特別会計は10月14日に約8時間かけて審査されました。12月定例会初日には、桜田誠一般会計決算特別委員会委員長と苗村洋子特別会計決算特別委員会委員長が審査報告を行い、採決の結果、いずれも全会一致で認定されました。

(3面に「議案に対する各会派の賛否」を掲載)

一般会計決算特別委員会における各会派(1人会派は除く)の総括質疑は、次のとおりです。

市議会公明党

質問 ①職員の育成に対する考えは。
 ②保育園で事故があったが、子どもの安心、安全などに対する取り組みは。
 ③市長の寄附行為の禁止や職員の規律についての考えは。
 ④富山県黒部市では、中学生が市内の施設や企業で1週間現場研修をしていたが、小平市でも行っているのか。

答弁 ①トップの私が目標を持ち、その目標を職員みんなが共有することが大事と考える。
 ②事故に対しては本場に申しわけなくおわびをする。再発防止に向けて研修等を行っており、二度とこのようなことがないようにしたい。
 ③市長の交際費はホームページで公開しており、職員の服務規律は厳しく取り決めをしている。今後も一層、規律を徹底していきたい。
 ④日数については学校により差があるが、市立の全中学校で職場体験学習に取り組んでいる。今後も教育委員会、学校、商工会等が連携しながら職場体験の場所を確保していきたい。

一般会計決算に対する各会派の総括質疑

(要旨)



本会議が開催される議場(市役所7階)

政和会

質問 ①平成16年度の事業に対する市長の見解は。
 ②まちづくりの施策を、どう進める考えか。
 ③今後、予算が提案された後に復活折衝などをする考えは。
 ④地域性を大事にして、多くの人が子どもとかかわる学校づくりを進めるべきと考えるが、学校の選択制も含めて、教育長の見解は。

答弁 ①手がたい行政運営が要求され、それにこたえてきたのかなというのを今回の審査の中で改めて感じた。
 ②大企業を誘致して企業城下町となるのではなく、地区計画を積極的に活用し良好な住宅市街地を目指したい。
 ③事前に会派から予算要望などを受けており、その中で対応できると思うが検討したい。
 ④学校間の格差が広がれば学校経営が混乱する、地域との連携が薄れていくなどの理由から、選択制の導入は必ずしも学力向上につながらないと考える。地域が地域の学校を愛するということのようなシステムをつくるのが大事である。

フォーラム小平

質問 ①市長はどのような市にしたいのか。そのためにどのような施策を優先していきか。
 ②子育て支援に重点を置いた市政を望むが、市長の考えは。
 ③障害を持っていても、本人が望めば自立して地域で生活できるような就業支援策など、これからのあるべき障害者施策に対する考えは。
 ④ひとり暮らしの高齢者の不安を、どのように解消していくか。

答弁 ①現役世代がしっかり町を支えているような参加型、自治型の町をつくらしていきたい。どの施策を優先していくかは直ちに言えないが、自分の負担を皆がしながら、基本的には決定構造に多くの人がたが、かかわれるようなシステムをつくらしていきたい。
 ②市が持っているいろいろな資源をネットワーク化して、子育て支援に生かしていきたい。
 ③経済的な問題や施設整備の問題などがあるが、今後検討していきたい。
 ④グループホームの設置などにより対応していきたい。

日本共産党小平市議団

質問 ①税制改正で増税となる非課税世帯への対応は。
 ②一時期のコスト状況だけを見て、公立保育園を民間委託や指定管理者制度へ移行することには問題があるかと考えるが、どうか。
 ③男女雇用機会均等の立場から、学童クラブの指導員に男性のフリーターなどを一定期間雇用することはできないか。
 ④市民参加を今後どのように発展させていく考えか。

答弁 ①市で取り組むことを検討し、努力していきたい。
 ②公立保育園には福祉的な要素や公平性などがあり、私立保育園には民間のよさがあるので長所を伸ばして理解してもらう必要がある。
 ③男女で差をつけることはできないので、できるだけ男性にも応募してもらい魅力ある環境をつくらなければならない。
 ④市民が市政に参加するということは、当然その決定に対して一定の責任を負うことになる。自分が役に立っているという社会をつくるためには、市民参加を避けて通れないと考えている。

緑・ネット

質問 ①保育士や学童クラブの指導員に男性が少ないが、今後どうしていく考えか。
 ②係長や課長などに女性職員の割合が少ないと感じる。女性が働き続けられる、また昇進しやすい職場をつくらなければならないか。
 ③国勢調査の対応で、三鷹市等は全世帯に対して調査書を封筒に入れて提出する、いわゆる密封提出方式をとっていた。小平市でも人権に配慮した対応ができないか。
 ④障害者自立支援法を視野に

答弁 ①職員研修の一環として派遣したらどうかという提案もある。それ以外にも工夫できるものがあれば検討していきたい。
 ②女性職員の意見を聞く機会を設けたい。できるだけ女性の幹部職員をふやしていく方向で、総合的に検討していきたい。
 ③密封提出もできるので、提出方法についてはわかりやすくし、周知していきたい。
 ④市として積極的に取り組んでいきたい。

議会日誌

10月27日～1月25日
(本会議、委員会、諸会議など)

10月

- 27日 昭和病院組合議会行政視察(高知県高知市、28日まで)
- 28日 三多摩上下水及び道路建設促進協議会第3委員会
- 31日 生活文教委員会行政視察(北海道北見市、北海道常呂郡留辺蘂町、北海道旭川市、11月2日まで)

11月

- 8日 総務委員会管外視察(千代田区、港区)東京都道路整備事業推進大会
- 9日 生活文教委員会東京都十一市競輪事業組合議会東京都四市競艇事業組合議会
- 10日 厚生委員会
- 11日 建設委員会(市内視察あり)
- 15日 東京都三多摩地域廃棄物広域処分組合議会行政視察(秋田県大館市、宮城県黒川郡富谷町、16日まで)
- 17日 湖南衛生組合議会
- 18日 幹事長会議
- 20日 東京都十一市競輪事業組合議会行政視察(静岡県伊東市、神奈川県川崎市、

21日まで)

- 22日 小平・村山・大和衛生組合議会
- 24日 議会運営委員会全員協議会
- 25日 幹事長会議(臨時)
- 28日 昭和病院組合議会
- 29日 12月定例会初日幹事長会議(臨時)議会運営委員会(臨時)
- 30日 12月定例会2日目(一般質問)

12月

- 1日 12月定例会3日目(一般質問)
- 2日 12月定例会4日目(一般質問)
- 6日 総務委員会

7日 生活文教委員会

- 8日 厚生委員会
- 9日 建設委員会(市内視察あり)
- 14日 幹事長会議
- 15日 議会運営委員会
- 20日 12月定例会最終日議会報編集委員会

1月

- 17日 議会報編集委員会
- 19日 都市基盤整備調査特別委員会管外視察(調布市)
- 20日 産業活性化調査特別委員会管外視察(世田谷区)
- 25日 東京都公平委員会関係団体協議会